

# UKIYO E GOLDEN AGE

# 浮世絵の黄金時代

葛屋重二郎と写楽・歌麿

特別陳列

2025年

4.13<sup>日</sup>—6.8<sup>日</sup>

前期 4.13[日]~5.6[火・振] 後期 5.8[木]~6.8[日]

[休館日] 月曜日(5月5日[月・祝]は開館し、5月7日[水]休館)

[開館時間] 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

[入館料] 一般600円、高・大生400円、中学生以下無料

※団体(有料入館20名以上)、65歳以上は2割引

※各種障がい者手帳等を提示された場合、本人と介助者1名無料

ゴールデンエイジ



和泉市久保物記念美術館

KUBOSO MEMORIAL MUSEUM OF ARTS, IZUMI

〒594-1156 大阪府和泉市内田町3-6-12 TEL: 0725-54-0001 <https://www.ikm-art.jp>

ホームページ

くほそう

検索



図版: (左) 高島おひさ 喜多川歌麿筆(部分)、(右) 初代市川男女蔵の奴一平 東洲斎写楽筆(部分)

# '25 UKIYO E EXPO in IZUMI #1

大阪・関西万博が開催される2025年、和泉市久保惣記念美術館では「'25 UKIYO E EXPO in IZUMI」と題し、一年を通して浮世絵版画をご紹介します。幕開けは、江戸時代の出版業界に大きな足跡を残し、現在放映中の大河ドラマ「べらぼう〜葛重栄華乃夢斬〜」の主人公でもある葛屋重三郎を取り上げます。

浮世絵版画は絵師が下絵を描き、彫師が版木を彫り、摺師が色をつけるという共同作業によって作られ、その作業を統括する重要な役割を担ったのが版元(現代で言うところの出版社)でした。その版元の中でも一代で大人気となったのが葛屋重三郎(葛重)で、耕書堂という屋号でベストセラーを生み出しました。葛重は吉原の案内書を出版し、版元としての地位をつけましたが山東京伝の黄表紙が幕府にとがめられ版元の葛重も処分を受けました。書物の出版から、浮世絵版画の出版に舵を切り、東洲斎写楽や喜多川歌麿などの絵師たちとともに江戸の出版界を席卷しました。写楽と歌麿それぞれの作品に共通するのは、上半身像の似顔絵を描いている点です。歌舞伎役者の一瞬の表情や、女性が垣間見せる心の移り変わりを写楽と歌麿は巧みに描き出しています。葛屋重三郎は時代の要請に応じ人々が興味のある内容でコンテンツを作りあげ大人気となりました。本展覧会は錦絵の誕生から写楽、歌麿が登場する時代までを久保惣コレクションで構成します。ダイナミックな表現の中に見える繊細な描写をお楽しみください。

## 展示解説

4月26日(土)、5月11日(日)

いずれも午後1時より、学芸員による展示解説を展示室で行います。聴講無料。(ただし美術館入館料が必要です。)

## ミュージアムコンサート

[開場] 午後1時30分 [開演] 午後2時(全日共通)

[開催日] 4月19日(土)、27日(日)、29日(火・祝)、5月5日(月・祝)、6日(火・振)、10日(土)、11日(日)、18日(日)、24日(土)、31日(土)、6月1日(日)、7日(土)、8日(日)

コンサートは音楽ホール(Eホール)で行い、美術館に入館された方はご自由にお聴きいただけます。当日美術館入口で午後1時30分より入館シートご提示の方に配付する整理券が必要です。なお、先着120名様で入場制限を行います。全席自由。内容については美術館までお問い合わせください。

## 茶室公開

クラウドファンディングにより多くの方々にご支援いただきました茶室耐震補強工事(1期)が完了いたしましたので、下記の通り茶室公開を再開いたします。  
4月13日(日)~6月8日(日)の土・日・祝  
午前10時30分から11時30分、午後1時から4時 雨天公開中止

特別陳列「浮世絵の黄金時代—葛屋重三郎と写楽・歌麿—」は美術館・新館で開催します。新館ではあわせて西洋近代美術も展示します。本館では「古美術の中の舶来」と題し、久保惣コレクションの中から日本に伝来した美術品をご紹介します。新館の展示とあわせてご覧ください。

## 和泉市久保惣記念美術館

〒594-1156 大阪府和泉市内田町3-6-12 TEL:0725-54-0001 <https://www.ikm-art.jp>

公式エクス／Instagramはこちら  
展覧会のお知らせ、見どころや作品紹介など、美術館のさまざまな情報を発信しています。



## 主な展示品

- 「初代市川男蔵の奴一平」東洲斎写楽筆(表右)
- 「高島おひさ」喜多川歌麿筆(表左)
- 「三世沢村宗十郎の伴黒主」東洲斎写楽筆(1)
- 「絵兄弟」喜多川歌麿筆(2)
- 「風流伊勢物語り・筒井筒」勝川春章筆(3)
- 「雛形若菜初模様」磯田湖龍斎筆(4)
- 「雪中鷺鷥」鈴木春信筆(5)



## 交通案内

### ●電車の場合

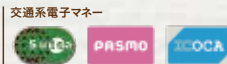
・南海泉北線「和泉中央」駅下車、南海バス①乗り場より「美術館前」「松尾寺」行、乗車(約10分)、バス停「美術館前」下車すぐ

### ●車の場合

阪和自動車道「岸和田・和泉」インターより約3分(無料駐車場有)

美術館の入館料、図録・グッズの支払いに、現金決済に加えてクレジットカードや電子マネーなどキャッシュレス決済手続きが可能です。

## 【主な決済ブランド】



## スマホコード

